

令和4年6月10日

東京大学大学院工学系研究科
東京大学大学院総合文化研究科
東京大学大学院新領域創成科学研究科

東京大学建築構成材デザイン工学 (AGC 旭硝子) 寄付講座完結展

森に棲む月に棲む建築構造デザイン

駒場・本郷・柏の3キャンパスで開催

2010 (平成 22) 年から 12 年間、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻に開設された「建築構成材デザイン工学 (AGC 旭硝子) 寄付講座」が完結しました。この度これを記念し、本寄付講座から生み出された建築構造デザインのプロジェクトを、駒場・本郷・柏の3キャンパスで展示します。森の「こもれび」の中に、そして月の「縦孔」の中に棲みつく「建築構造デザイン」の世界をご覧ください。

つきましては、本件について記事掲載および展覧会の取材等を是非お願いいたしたく、ご案内申し上げます。

詳細は、東京大学駒場博物館公式ウェブサイト

(<http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/>) を参照ください。



以下の URL からダウンロードできます。

<http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/>

記

【開催概要】

主催 | 東京大学大学院工学系研究科建築構成材デザイン工学 (AGC旭硝子) 寄付講座、東京大学大学院総合文化研究科・教養学部駒場博物館、東京大学工学部11号館HASEKOKUMA HALL、東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻佐藤淳研究室

共催 | 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻

協力 | 東京大学柏図書館、東大駒場友の会

会期 | 令和4年7月16日 (土) ~9月11日 (日)

会場 | 第一会場：東京大学 駒場 I キャンパス 駒場博物館

住所 東京都目黒区駒場3-8-1

開館時間 10:00-17:00 (最終入館16:30)、火曜休館

入館料無料

ウェブサイト <http://museum.c.u-tokyo.ac.jp/>

第二会場：東京大学 本郷キャンパス 工学部11号館HASEKO-KUMA HALL

住所 東京都文京区本郷7-3-1

開館時間 7:00-19:00（最終入館18:30）、土日祝休館

入館料無料

ウェブサイト <https://haseko-kuma.t.u-tokyo.ac.jp/>

※会期中も講堂では、講義が行われております。私語はお控えください。

※会期中、大学の行事等により入館制限をする日があります。詳しくはHASEKO-KUMA HALLウェブサイトをご確認ください。

第三会場：東京大学 柏キャンパス 東京大学柏図書館

住所 千葉県柏市柏の葉5-1-5

開館時間 7月 | 9:00-21:00（月-金|最終入館 20:30）、
10:00-17:00（土|最終入館 16:30）
日祝閉館

8-9月 | 9:00-17:00（月-金|最終入館 16:30）
土日祝閉館

入館料無料

ウェブサイト <https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa>

※ご利用は学内の方、入館証をお持ちの学外の方に限ります。

※土曜日のご利用は学内の方に限ります。

ご来館の際は、各施設の利用規則に従ってご利用ください。

【展示概要】

力学・幾何学・デジタル技術を駆使し、極細・極薄を探究した建築構造デザインは、「こもれび」の光で満ちた空間を生み出します。本展では、曖昧性（Fuzzy）を帯びた結節点（Node）で結ばれ、森の「こもれび」の様相を呈した世界最強級のガラス《Transparent Structures》（2015）や「壊れても死なない構造」を夢見て華やかに舞う世界最薄の布《羽衣構造：紅掛空》（2019）や21_21 DESIGN SIGHT「虫展」に出展した世界最薄の和紙《極薄和紙の巣》（2019）といった30ほどのプロジェクトを原寸大のモックアップや映像、スケッチ、図面等を通してご紹介しします。

これらのプロジェクトで培われたエンジニアリングは、東日本大震災の被災地における膜テンセグリティ構造の集会所《MOOM [Membrane Oom]》（2011）に、アルゼンチンのスラム街では親杭横矢板の土留め壁《SMA ワークショップ》（2018）に、さらに月や火星に存在する縦孔と呼ばれる巨大な洞窟に着床させる月面基地の提案《Lunar/Mars Base Camp》（2021）へと結実していきました。本寄付講座が提案してきた「森に棲む月に棲む建築構造デザイン」は、これまで体験したことない新しい空間へと私たちを導き、工学の未来を切り拓く契機となることでしょう。



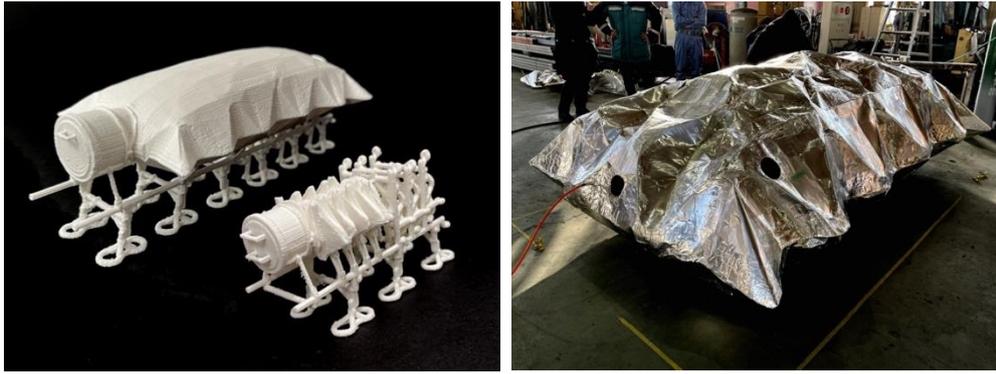
左) 世界最強級のガラス《Transparent Structures》2015年
中央) 世界最薄の布《羽衣構造：紅掛空》2019年
右) 世界最薄の和紙《極薄和紙の巣》2019年



膜テンセグリティ構造の集会所《MOOM [Membrane Oom]》2011年



親杭横矢板の土留め壁《SMAワークショップ》2018年 撮影：Claudia Sakay



左) 月面基地の提案《Lunar/Mars Base Camp》2021年, 3Dプリントモデル
右) 月面基地の提案《Lunar/Mars Base Camp》2021年, 展開試験

上記の全ての画像は、東京大学佐藤淳研究室の提供です。
画像をご使用の際は、「画像提供:東京大学佐藤淳研究室」と記載してください。

【本展へのお問い合わせ】

東京大学 大学院総合文化研究科・教養学部 駒場博物館 (担当: 折茂 克哉)

Tel : 03-5454-6139

E-mail : komabamuseum@museum.c.u-tokyo.ac.jp